

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

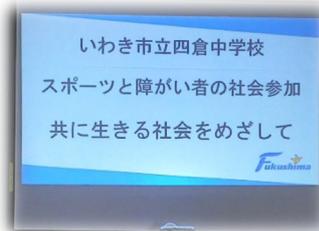
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 いわき市立四倉中学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者 (学年・人数)	いわき市立四倉中学校 第2学年 生徒 80 名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	パラリンピック元日本代表の増子恵美さんを招き、これまでの経験に基づいた講話を通して、障がい者および障がい者スポーツについての理解を深めるとともに、障がいを持つ人との共生について考える。
5 取組内容	<p>【講演】 13:20~15:10 演題 「スポーツと障がい者の社会参加 ～共に生きる社会をめざして～」 講師 福島県障がい者スポーツ協会 増子 恵美 様</p> <p><内容></p> <p>(1)パラリンピックの歴史や競技について</p> <p>(2)障がい者スポーツの紹介と障がいの理解について</p> <p>(3)2020年パラリンピックが目指す社会について</p> <p>(4)2020年パラリンピックを目指している福島の選手紹介</p> <p>(5)一流選手になるための心構えやそのための生活について</p>



<p>6 主な成果</p>	<p>○障がい者スポーツへの理解を深めるとともに、パラリンピックに対する意識が高まった。</p> <p>○実際に銅メダルに触れさせていただき、一流選手の考え方や生活についての理解を深めることができた。</p> <p>○障がい者スポーツやパラリンピックを意識して注目していきたいという感想が多く聞かれ、実際に種目や競技日程を調べる生徒が見られるようになった。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックへの関心を高めた生徒が、聖火ランナーの一般公募に応募し、いわき市の公募枠1名に選出された。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○今回の事業は、2年生で実施した。本校では、1年次に地域の特別支援学校と連携を図り、年に3回程度の交流事業を実施している。障がいをもつ生徒と共同で学習や作業を行うことで、障がいをもつ生徒との触れ合う活動を行ってきた。そのような事前の取り組みを行ってきたことで、今回の増子さんの講話に関して、スムーズに理解を深めることができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○本校では、障がいをもつ生徒との連携を図っていたためにスムーズに本事業に取り組むことができたが、他教科との関連や効果的な学習方法を検討して、継続した取り組みになるようにしていく必要がある。</p> <p>○障がいをもつ方にお越しいただいて講話をしていただくことは大変有意義なことではあるが、学校施設のバリアフリー化が進んでいないため、お越しいただく講師の方に負担をかけてしまうことになる。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○本事業を受けて、パラリンピック本番に向けて生徒へ障がい者スポーツの実施情報を提供していくとともに、関心を高めていきたい。</p>

